

通常診療の再開につきまして

新型コロナウイルス感染症の院内感染発生のため、外来診療と入院の受け入れを制限しご不便をおかけしてまいりましたが、感染防止対策の強化に努めた結果、感染が発生した当該病棟以外での新たな感染者は確認されておりません。このため5月25日(月)より通常診療を再開させていただきますのでお知らせ申し上げます。

ここにあらためましてお亡くなりになられました患者様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

また、ご不安とご心配をおかけいたしました近隣の皆さまに深くお詫び申し上げますとともに各行政機関の方々よりいただきましたご支援とご指導に厚く御礼を申し上げます。

これまでの陽性者の発生状況と、主な院内感染対策について以下のとおりご報告申し上げます。

患者様の安全を確保し、地域の皆様に安心してご受診いただけるよう、今後も職員一丸となって取り組んでまいります。今後ともご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

1. これまでの陽性者の発生状況について (5月22日現在)

患者様 13名 職員 3名 (外来1名 病棟2名) 合計 16名

患者様のうち2名の方が専門病院に転院され、5名の方がお亡くなりになられています。

入院中の方は現在6名のうち3名はPCR検査で連続して陰性を確認しています。

なお職員3名は、PCR検査を連続して実施し、陰性を確認しています。

2. 主な院内感染対策について

①感染者の把握と適切な隔離

感染者の発生した病棟の入院患者と関係職員の健康観察を徹底し PCR 検査による早期発見に努めています。厳格に感染管理エリアを区分けし、感染が疑われた段階で即時に個室に隔離（職員は自宅待機）して感染拡大を防いでいます。

②感染防止の標準的予防策の徹底と入館者全員への検温実施

全職員に手指衛生や個人防護具の安全な着脱手順などを再度徹底しました。

院内ではサージカルマスクの常時着用を全職員に徹底し、入館される全ての方にも常時マスクの着用をお願いしています。

③感染リスクの高い状況での対応方法を確認

エアロゾル発生など高い感染リスクを伴う処置や手技を行う際の防護策と手順を行う際の防護策と手順を関係する職員間で再確認しました。

④環境衛生の徹底管理

入館される方々が、手で触れる箇所（手すりや椅子、備品の表面など）を、消毒剤を使って入念に清掃しています。また全職員を対象に環境衛生管理の重要性と徹底を再確認しています。

2020年5月23日

久我山病院
病院長 岩下 光利